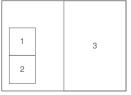
○ CD 02 043~045

龍文様-2[りゅうもんよう]

皇帝のシンボルとしてあらゆる動物を超越する「龍」

中国では、秦の始皇帝を「祖龍」、漢の高祖の容貌を「龍顔」、皇帝の身体を「龍体」といいます。こ のように龍は高貴の象徴とされ、庶民が龍の文様を使うことは許されませんでした。しかし、皇帝が 使用する龍の図案は五本指で描かれ、庶民が龍を描く場合は、四本指や三本指にしました。その結果、 龍文様がひろがったといわれています。





1 団龍図 帽筒 中心部

O CD 02 043

「団龍」は円形に表現した龍の文様です。表現に抑制が 効いているのは、ほかの要素が繁雑なためです。

2 龍文 方錐瓶 部分

O CD 02 044

鱗のある龍を咬龍(こうりゅう)といいます。不気味に 見えますが、反面ユーモラスにも描かれています。

3 草龍 円盤 中心部 OCD 02 045 写実よりすごみのある龍(昇り龍、降り龍)を意匠化 しようとしたのではないでしょうか。

